

令和2年度 講座実施報告書

概要

講座の名称	デートDV防止セミナー			
講座の目的	デートDVは、恋人同士での「からだ」や「こころ」に対する暴力で、人権侵害であり犯罪です。長野県男女共同参画センターは教育機関や関係団体等と連携しながら、若者のデートDVを防止するために講師派遣事業を行ないます。			
募集対象	長野県内の高校、大学等			
募集申込数	11校	実施校数	8校（1校実施見送り）	
講師	気賀沢 葉子さん（心理カウンセラー、参画コラボ@信州 代表） 小濱 知実さん（信州豊南短期大学非常勤講師、参画コラボ@信州）			
実施日	学 校	学 年	受講者数	担当講師
令和2年7月16日（木）	茅野高等学校	1学年	73名	小濱講師
令和2年9月16日（水）	エクセラシオン高等学校	2学年	116名	小濱講師
令和2年9月23日（水）	松本美須ヶ丘高等学校	1学年	281名	小濱講師
令和2年10月1日（木）	梓川高等学校	1学年	107名	気賀沢講師
令和2年11月2日（月）	信州木曾看護専門学校	2学年	23名	小濱講師
令和2年11月5日（木）	小諸高等学校	3学年	184名	小濱講師
令和2年11月18日（水）	白馬高等学校	1～2学年	114名	気賀沢講師
令和2年11月20日（金）	大町岳陽高等学校	2学年	230名	小濱講師
実 施 内 容				
<実施例> ・講義／デートDVとは？（特徴、その仕組み、根本にあるジェンダーバイアス、リモートによる被害） 「自分も相手も大切にすることとは」「もし、デートDVを自分（友だちが）受けていたら」 ・ロールプレイング：対等な関係性が築けているか ・映像資料視聴（DVD）				
参 加 者 の 声				
・デートDVは未来に影響を与えるものだという事に驚きました。友達と疎遠になることだけではなく、進路にも関わってくることや、ケンカとデートDVの区別は他人から見てわからないことからとても難しい問題だと思いました。 ・デートDVはリモートでもおこることが分かった。離れていてもDVは起こっていて怖いな、と思った。 ・付き合っても、お互いの関係に上下関係があったりするの自分だったら嫌だなと思いました。 ・デートDVは誰もが経験する可能性があるものと思った。「自分たちでも気付いていないことがある。」と聞いて怖くなった。 ・「親密になると実は相手のことが見えなくなる」という言葉が印象に残っています。 ・なかなか、人には相談しづらいことだと思うが、もし自分が見たり聞いたり経験したりすることがあれば、人に頼るということを大切にしたい。 ・知っていなければ、当たり前とってしまうようなこともあって、知識をつけることは大切だなと思った。 ・身体の暴力だけでなく、心の支配もデートDVになることを今日のはじめて知った。・友達の話をしている中に出てきたことが意外にもデートDVだと知った。				